

アジア政経学会 2002年度第1回理事会 議事録

1. 日 時 2002年6月8日(土) 12:00~14:00
2. 会 場 文部科学省学術総合センター
3. 理事・監事総数 46名(内、監事2名)
4. 出席者 18名(石井・絵所・加納・加藤・北原・倉沢・白石・末廣・高原・竹田・田中(明)・γ余・長崎・服部・平川・平野・藤原・山田)
5. 委任状提出者 20名(天児・池端・石田・上原・江崎・大内・岡部・小川・我部・清川・国分・佐々木・高木・田中(恭)・中兼・西村・朴・広瀬・毛里・若林)
6. 出席者合計 38名
7. 議 長 石井理事長
8. 議 事

*議事録署名人2名選出(加納啓良、末廣昭)

*2001年度第2回理事会(2001年12月8日)議事録確認

(1) 学会の運営体制について

石井理事により、下記の事務局に補佐を置くことの説明が行われ、承認された。
各事務局の業務担当理事が理事会・常務理事会に欠席の際は代理出席可(ただし投票権無)とした。

① 研究担当補佐

東日本: 滝口太郎(中国担当)・鳥居高(東南アジア担当)・広瀬崇子(南アジア担当)
西日本: 平川均(中京地区)・朴一(阪神地区)・小川雄平(九州地区)

② 編集担当補佐 副編集主任として、谷垣理事に依頼。

(2) 東日本大会、西日本大会の開催について

石井理事より、下記の通り報告が行われた。

① 東日本大会 本日開催(主催校:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
会場:文部科学省学術総合センター)

② 西日本大会 6月29・30日(主催校、会場:福井県立大学)

報告者がほぼ全員決定したとの報告があった。

(3) 全国大会について

① 本大会事務局長の加藤理事より、本年度全国大会(10月26・27日)について、第1日目の自由論題報告者を、6月30日を応募期限としてホームページ上で公募中との報告があった。また、実行委員長の石原理事を中心として、第1日目の

分科会を、2日目の共通論題につながるようにプログラム作成を行っている旨の説明が行われた。

7月の常務理事会にて、上記の件を取りまとめ、決定することが承認された。

- ② 末廣理事より、来年度の全国大会（2003年11月8・9日を予定）の会場について検討中であるとの報告があった。

(4) 2001年度決算について

加納理事より報告が行われ、承認された。（石井理事より、都税事務所への決算申請時期が先であったため、事後承認の形をとる旨の説明が行われた。）

(5) 2002年度予算について

加納理事より報告が行われた。本日の議論をもとに予算案に手直しを加え、7月の常務理事会、秋の理事会にて、改めて報告を行う旨説明がなされ、承認された。

(6) 『アジア研究』の編集体制、編集状況について

加藤理事より以下の通り報告があり、承認された。

(1) 編集体制

- ① 人員拡充：中国4、中国を除く東アジア3、東南アジア3、南アジア2といった地域配分と、各地域ごとに3の場合は、経済、政治・国際関係、社会・その他、南アジアは経済と非経済という2分野で網羅的に領域をカバーする。

- ② 新編集委員：中国—天児慧（政治）、丸川知雄（経済）、加藤弘之（経済）、
園田茂人（その他）

東アジア—木宮正史（政治）、佐藤幸人（経済）、谷垣真理子（その他）

東南アジア—古田元夫（政治）、足立文彦（経済）、吉村真子（その他）

南・西アジア—絵所秀紀（経済）、堀本武功（非経済）

但し、検討事項として、現在任期の無い編集委員に、将来的には任期制を導入する必要があるかもしれない点が挙げられた。

③ 任務分担

- * 編集委員会（年2回程度の開催を予定）に出席、雑誌の内容を検討する。
- * 投稿論文が投稿された時、自分の領域の場合にレフェリーを依頼すると共に、修正後の最終原稿についてチェックを行う。
- * 書評の強化。専門領域・地域について、書評原稿の依頼もしくは若手を組織して書評論文の作成を誘導する。

(2) 『アジア研究』（第48巻第3号）の編集状況

- ① 「アジア政経学会50周年企画」として、理事長経験者、名誉教授クラスの長老に、学会50周年を振り返ってのエッセイを依頼すること、また、当時の学会の雰囲気伝える写真を見つけて掲載すること、好評の場合49巻第3号あたりまで続けることが提案された。

- ③ 第48巻3号では、論説5本、書評3本、2冊の新書紹介を、既に編集済みである

との報告が行われた。

(7) アンケート、名簿、ニューズレターについて

高原理事より、本年度の名簿作成についてのアイデアを募集する旨の告知が行われた。
石井理事より、本日欠席の若林理事に代わり、作成中のニューズレター最新号
(※号数を聞き逃してしまいました→中島)についての報告が行われた。

(8) 50周年記念事業他について

石井理事より、以下の通り報告があった。

- ① 2003年度(50周年)の全国大会を11月8(土)・9(日)に東京で開催することにし、9日に国際シンポジウム(担当:国分理事)を開く。
- ② アジア政経学会研究奨励賞(仮称)の制定(担当:佐々木理事)
長老(→議事録上では何と表すべきでしょうか)を中心メンバーとする、「アジア政経学会研究奨励賞選考委員会」を作り選考を行う。対象は若手会員の著作とする。
- ③ 「アジア政経学会小史-40周年からの10年」を作成し、学会ホームページ上に掲載する。
- ④ 「寄附行為」の、現行の運営との食い違いが目立ち始めたので、これを是正する必要がある。今期中には見直しを行いたい。

(9) 入・退会者について

次の入会希望者57名の承認を行った。

***一般会員**

- 岩下 明裕(北海道大学スラブ研究センター 助教授)
王 偉彬(広島修道大学法学部 助教授)
岡本 郁子(アジア経済研究所)
大辻 義弘(日本貿易振興会バンコックセンター所長)
大久保 勲(福山大学経済学部 教授)
白井 早由里(慶應義塾大学総合政策学部 助教授)
杉江 弘充(産経新聞 関西空港支局長)
杉原 薫(大阪大学大学院経済学研究科 教授)
田中 茂明(経済産業省大臣官房企画課)
陳 晋(沖縄大学人文学部 教授)
根岸 祥子(神戸大学大学院経済学研究科 助教授)
船津 鶴代(日本貿易振興会 アジア経済研究所研究員)
三木 敏夫(札幌学院大学経済学部 教授)
向山 英彦(株式会社 日本総合研究所 上席主任研究員)
矢野 剛(徳島大学総合科学部 助教授)
山本 真(筑波大学歴史人類学系 専任講師)

*院生

- 相川 泰（東京大学大学院総合文化研究科）
石井 智章（早稲田大学大学院政治学研究科）
石川 誠人（立教大学大学院法学研究科）
石塚 迅（日本学術振興会特別研究員）
石橋 克巳（東京大学大学院総合文化研究科）
猪股 名保子（慶應義塾大学法学研究科）
于 逢春（広島大学大学院教育学研究科）
遠藤 敏幸（同志社大学大学院）
大沢 幸一郎（早稲田大学大学院人間科学研究科）
河崎 信樹（京都大学大学院経済学研究科）
木下 光弘（桜美林大学大学院国際学研究科）
呉 暁東（西南学院大学大学院経営学研究科）
篠崎 香織（東京大学大学院総合文化研究科）
志水 郁子（愛知大学中国研究科）
嶋田 ミカ（龍谷大学大学院経済学）
沈 洪（福岡大学大学院商学研究科）
徐 涛（立命館大学大学院経済学研究科）
焦 從勉（京都大学大学院人間・環境学研究科）
鄭 根珠（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）
秦 花秀（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）
高屋 和子（大阪市立大学大学院）
千葉 芳広（北海道大学大学院経済学研究科）
張 艶（早稲田大学大学院商学研究科）
陳 琳（中部大学大学院国際関係研究科）
新美 達也（中央大学大学院経済学研究科）
野本 啓介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）
橋口 勝利（京都大学大学院経済学研究科）
逢 軍（同志社大学大学院文学研究科）
久末 亮一（東京大学大学院総合文化研究科）
平野 悠一郎（東京大学大学院総合文化研究科）
福田 忠弘（早稲田大学大学院社会科学研究科）
福原 裕二（広島大学大学院国際協力研究科）
堀内 賢志（早稲田大学大学院社会科学研究科）
堀口 正（大阪市立大学大学院）

モンコン・ラキットモンコン（沖縄国際大学商経学部商学科 専任講師）

山口 昌樹（東北大学大学院経済学研究科）

山元 菜々（東京大学大学院）

兪 敏浩（慶應義塾大学大学院法学研究科）

羅 慧雯（京都大学大学院経済学研究科）

李 蓮花（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）

和田 英穂（愛知大学大学院中国学研究科）

*退会者

浅野 幸穂

石 南國（城西大学経済学部）

大橋 正璋

紙谷 貢（財団法人食料・農業政策研究センター）

小泉 允雄（恵泉女子学園人文学部）

志村 規矩夫（文教大学文学部）

杉田 米行（大阪外国語大学）

内藤 昭（大阪市立大学 名誉教授）

中野 謙二（東海大学）

原田 和明（株式会社 三和総合研究所 理事長）

平松 健治（中部大学国際関係学部）

藤田 雄二

三井 俊彦（民主主義研究会）

劉 進慶（東京経済大学 教授）

*次回理事会： 10月26日（土）12:00～14:00（?）

議案1号 平成14年度（2002年度）予算案の承認について

加納財務理事より2002年度の予算案が提出され、検討の上、全員一致をもってこれを承認した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成14年6月8日

財団法人アジア政経学会

議長

石井 明



議事録署名人

末廣 昭



議事録署名人

高原 明生

